

学校推薦型選抜のポイント

大阪体育大学 スポーツ科学部／教育学部

掲載している内容は、過去に実施された試験について、受験生からの聞き取り調査をもとにまとめたものです。ポイントは、授業を担当する講師が指導上、重視する点を簡潔にまとめたものです。入試内容は、変更になる可能性があります。本年度の入試については、入試要項等でご確認ください。

◆小論文試験の形式とポイント

- 形式 横書き原稿用紙 (600字以内)
- 時間 60分 テーマ型 ※資料読み取り型の場合もある。
- ポイント

丁寧な字を心がけ、原稿用紙の8割(480字)から9割(540字)は埋めること。

1マスあけて書き始め、改行して3つまたは4つの形式段落をつくり、読みやすくすること。

文体は、「～です、～ます」ではなく「～だ、～である」など敬語を使わない「常体」に統一して書くこと。

設問で問われていることに明確に答えることが大前提。具体例を挙げる場合、無造作に羅列するのではなく、論理性を意識して書いていくこと。

問題例 2024年度実施

【問題】

スポーツの教育の場においてICT(Information and Communication Technology:情報通信技術)の導入が進んでいますが、体育の授業においても例外ではありません。高等学校の体育実技の指導において、効果的なICTの活用例を2つ挙げ、それぞれの活用例がなぜ教育効果をあげるために有用であるか、あなたの考えを具体的に600字以内で述べなさい。※インターネット環境は整っており、1人1台の端末利用が可能な状況を想定する。

構成例

第1段落 設問に対し、簡潔に答える

高等学校の体育実技の指導において、効果的なICTの活用の例として、次のようなものがある。1つは、○○○○であり、もう1つは、○○○○である。前者は、○○○○という理由で教育効果が期待できる。また、後者は、○○○○という理由で教育効果が期待できる。

第2段落 詳しく具体例を説明する

ところで、上記2つの活用には、注意点がある。例えば、……。

第3段落 結論は、第1段落と矛盾のないようにまとめる

以上のような配慮をしながら、○○○○や○○○○というICT活用の方法により、高等学校の体育実技の指導は、より良いものになると考える。

◆面接試験の形式とポイント

- 形式 グループ面接（1グループ3名）
- 時間 1人5分程度・1グループ30分程度

面接試験の基本として、大阪体育大学に関する理解を深めておくこと、および自分の将来の夢（目標）を明確にしておくことが必要となる。そのうえで、なぜ大阪体育大学なのか、なぜ大阪体育大学でなければならないのかを伝えられるようにしておく。

- 学部ごとの面接で聞かれた内容の例（聞き取り調査による）

◆スポーツ科学部

- ・ 志望動機
- ・ 学修計画
- ・ 大学の魅力
- ・ 本学に入ってから1年目にしたいこと
- ・ 高校と大学の授業の違いを想像で答える
- ・ 高校時代のこれは誰にも負けない経験と残りの高校生活で達成したいこと
- ・ 高校生活で得たもの
- ・ 大学で何をしたいか
- ・ 今スポーツで疑問に思っていること
- ・ 最後に言い残したこと（意気込み）

◆教育学部

- ・ 志望理由
- ・ 将来の夢、夢を持ったきっかけ、理由
- ・ 教員になろうと思ったきっかけ
- ・ 大学生活の計画
- ・ 部活と学業をどのように両立させるか
- ・ 体育以外で心に残っている授業・教科
- ・ 学修計画
- ・ 高校生活で学んだことは何ですか
- ・ 部活動について

◆実技試験の形式とポイント

- 形式 体力テスト（15m 往復走・メディシンボール背面投げ・立ち三段とび）

男子得点				女子得点			
得点	15m往復走(秒)	メディシンボール背面投げ(m)	立ち三段とび(m)	得点	15m往復走(秒)	メディシンボール背面投げ(m)	立ち三段とび(m)
50	4.88 以下	14.43 以上	8.58 以上	50	5.44 以下	12.08 以上	6.81 以上
45	4.99 ～ 4.89	13.59 ～ 14.42	8.30 ～ 8.57	45	5.57 ～ 5.45	11.36 ～ 12.07	6.59 ～ 6.80
40	5.10 ～ 5.00	12.74 ～ 13.58	8.02 ～ 8.29	40	5.69 ～ 5.58	10.63 ～ 11.35	6.36 ～ 6.58
35	5.21 ～ 5.11	11.90 ～ 12.73	7.74 ～ 8.01	35	5.82 ～ 5.70	9.91 ～ 10.62	6.14 ～ 6.35
30	5.32 ～ 5.22	11.05 ～ 11.89	7.46 ～ 7.73	30	5.94 ～ 5.83	9.18 ～ 9.90	5.91 ～ 6.13
25	5.43 ～ 5.33	10.21 ～ 11.04	7.18 ～ 7.45	25	6.07 ～ 5.95	8.46 ～ 9.17	5.69 ～ 5.90
20	5.54 ～ 5.44	9.36 ～ 10.20	6.90 ～ 7.17	20	6.19 ～ 6.08	7.73 ～ 8.45	5.46 ～ 5.68
15	5.65 ～ 5.55	8.52 ～ 9.35	6.62 ～ 6.89	15	6.32 ～ 6.20	7.01 ～ 7.72	5.24 ～ 5.45
10	5.76 ～ 5.66	7.67 ～ 8.51	6.34 ～ 6.61	10	6.44 ～ 6.33	6.28 ～ 7.00	5.01 ～ 5.23
5	5.77 以上	7.66 以下	6.33 以下	5	6.45 以上	6.27 以下	5.00 以下

- 詳細は大学発行の入試ガイド参照。

15m 走…グループに分かれて、順番に 1 回ずつ練習してから本番。

メディシンボール背面投げ…速度とボールを投げる瞬間までしっかりと見続けること。

立ち三段とび…白いマットの上に黒いカーペットがひかれてあり、足跡がつくようになっている。踏切を厳しく見られているため、ファールに注意。

◆教科試験の形式とポイント

- 形式 国語総合（古文・漢文を除く）、現代文B
- 時間 60 分
- ポイント

大問は2つ。第1問は現代文、第2問は国語常識。

第1問は傍線問題や空欄問題の他、漢字が多く出題されるので、日頃から漢字学習もしておく必要がある。

第2問は口語文法や語句の知識、文学史が出題される。口語文法や語句の知識は国語便覧等を日頃から見ておく必要がある。文学史は有名作家の代表作や古典のジャンルなど基礎的な知識を押さえておく。

以上